

ほんとは大人に知ってほしい 私たちの今 私たちの生き方

2022年3月6日(日)14:00~15:30

【谷口会長 挨拶】

今回マンボーで動けないためZoomで参加します。

今、世界(人類)は第5の社会に入っている。第1は狩猟社会、第2は農業、第3は工業や産業、第4は情報IT社会、第5は幸せな社会(well-being)になるため新しい社会を創っていく段階にきている。

人々のコミュニケーション能力を高め、年代によって生き生きと活発に生きていくために、お互いの努力、一緒に考える、理解を深めることが大切である。

①思いを持つ(ambition) ②前に進む(beyond)存在(bee) ③一緒に活動(communication/collaboration)

この① ② ③を皆で考えていきたい!

田中先生 子どもが存在していいのか、悩む気持ち、居場所について考える。

大人がどう対応するか考える。 ことについて70分で話し合いたい。

自分たちの今や生き方を、本当は大人に知ってほしいのではないか?

死にたい。という気持ちは、生きたくない。に通じるのでは?

生きたくない。という気持ちを除くことで生きたい。につながる!

そこの部分を中学生と一緒に考えたい。

【出席者紹介】

PTA 会長 3人の子どもの持つ親として考えたい。地域の活動をしているので今日の話し合いを役立てたい。

PTA 副会長 3人目が今年卒業なのでほっとしている。子どもの意見を聞いて親が気付かない部分を知りたい。

漆野ソーシャルワーカー 教育分野で子どもの置かれた環境問題に向き合う仕事をしている。カウンセラー(心理・心の整理)と少し違って子どもの環境に働きかけ、生きやすくするためにはどうすれば良いかを探る。

増永先生 生徒指導をしている。学校行事をどうすればうまくいくのか、人間関係をうまくやっていくためにはどうすれば良いかが課題。

【今の中学生が抱える問題】

(周りの人に対して)

- ★自分の負の感情に対して何も考えない
- ★クラスになじめない
- ★リーダー的存在になりたい
- ★先のことを考える行動をしたい
- ★自分の気持ちが言えない
- ★やる気が出ない
- ★思春期による心情の変化のせい反抗したくないのにしてしまう→罪悪感
- ★死にたい
- ★きつい
- ★自分が守ってあげるよと言ってくれる正義感の人がいない
- ★いじめ・孤立
- ★人との関わりが難しい

いなくてもいい存在のような気がして置いてけぼり(たくさんのなかにいるからこそ感じる)



居場所の難しさ

家族に言いたいことが言えない→一人の子どもに関わってくれる大人の数が減っている

(近所の大人・同居しているおじいちゃん、おばあちゃんがない)

子どもは誰を頼るか?(親の負担)

(自分に対して)

★自分が嫌い ★すべてを否定する ★自分に腹が立つ ★時分と闘っている

★何もかもどうでもよくなった ★焦らないし本気にもならない

★自分の頭の中が勝手に否定する

開き直った時に前に進めることができるのでは(増永先生:自分もそうだった)

生徒) 親しい人だから言えない(親) 迷惑かけたくない

生徒) 担任の先生にも言えない→迷惑をかけてもいいのに迷惑かけるのが怖い

◎笑い飛ばしてくれる人・自分の経験を言ってくれる人が少ないのでは?

生徒) 悩みを重く受け止められそうで怖い!心配かけたくない!という気持ちは理解できる。軽く考えた
いのではないか

★学校では明るいふりをしていて、自分の部屋のドアを閉めたらどっと疲れが出る生活
→嫌われそうで怖いからふりをする

★ただ何もかもが辛い どうすれば良いかなんて無責任な質問をするのは辛い 助けて!

★生きたくも死にたくもない

【居場所について】

◎学校・家庭・社会においてあなたの居場所は?(とどまりたい場所)

素の自分が出せる場所 家族・友人といられる場所 人の役に立てる場所

安心していられる場所 心が安らぐ場所

◎子どもは人に認められたいという気持ちがある

→それができないとき居場所を狭くしている

自分自身の中にダメな自分でも受け止める居場所を持ってほしい(ソーシャルワーカー)

生徒) 認めてもらえないかもという気持ちが居場所を狭くしている

生徒) そこに人がいたらそこは居場所になる。本人が何をするかで心地いいかが決まる

(自分の言葉が言える)

気持ちが暗くなったり人から何をされるか分からないような場所は居場所ではない

生徒) いていいよ!と言ってくれる場所 存在を知ってくれている場所

生徒) 素の自分が出せる 明るくしようとしても無理がある 話したいことが話せる(認められる)

人の役に立つ場所 役に立たなくてもいられる場所 落ち着ける場所

生徒) 人との関わりが出来る 何もなくても好きなことができる場所

生徒) 自分の居場所は自分で決める 思ったことをやれるところ(人に決められない)

生徒) 教室で声を掛け合ったり、家の居場所がないという環境を作りたくない

◎今いるところから逃げたくなる場所は？

生徒) 居心地悪いところ 自分の思いを隠さなければならないところ いる意味がないところ

苦しい場所 空気になじめない 自分がみじめになる 何もかもうまくいかない 恥ずかしい

生徒) 成長していない！あなたはそんな人間なのか！と否定される怒られ方はいや(理由がなくても好きだと言ってほしい)

◎居場所に必要なものは？

自分がいたいと思える場所に自分がしていく(馴染むまで大変)

相手を思いやる気持ちが伝わる場所→逃げずにコミュニケーションをとれば居心地よくなる

生徒) 自分が思っていることを全て受け止めてくれる気持ち 寄りかかっていいよの気持ち

自分を愛してくれる言葉、愛情

生徒) 価値観が一緒、お互い素でいられる

生徒) 自分の考えを更新ではなく上書きにしてはどうか！？

生徒) 共感できる部分、180度違う部分あったが、違う意見も頭の片隅に持っている余裕を持ちたい

生徒) 相手を思う気持ちを持つことや意見を聴くことが大切 居場所については教育だと思う

生徒) 人間関係はうまくいかない。考え方をうまく伝えるよう頑張っていきたい。

生徒) 人の話を聞くことを大切にして、学校や家庭で話しやすい環境を作っていきたい

生徒) 下積みしていつか花開くことをイメージしてやっていきたい

生徒) 今日の意見を聞いて考え方が変わった。こういう場所を作ってくれて良かった。

色んな角度から考え発表出来て良かった。

◎大人たちの問題も見えてきた

自分たちの問題を子どもから子どもに伝えてほしい

今日のシンポジウムで沢山の宿題をもらったと思う

これからも議論を続けていきたい！

【講評】 吉村副会長

実りのあるシンポジウムだった。

ネット社会の闇から子どもたちを守る活動を10年以上続けている。子どもの声を大人にも分かってほしいという意味では本音で話せて良かったと思う。

子どもの時代がなかったという大人はいない。大人は子ども時代の気持ちをもう一度思い出してみることが大切！

今日の生徒さんたちは自分の居場所を、本音ベースでちゃんと持っててありがたいの感謝の気持ちを言えるところが素晴らしい！

暴走族が暴れるのは承認欲求の場であり、大人に何か聞いてもらいたい気持ちの表れ。

今の子どもたちはバーチャルの世界に自分の居場所を求めようとするが、ブラックホールに入り込んで出られなくなってしまわないようにしっかり伝えていきたい。

自分の気持ちを更新ではなく上書きにするという発想が素晴らしい！

こういう中学生と大人が本音で話し合う機会はなかなかないと思う。有意義な時間だった。

こういうシンポジウムはこれからも継続してやっていきたいと思う。